

【別紙】 令和2年度 学校自己評価重点目標シート (川口市立小谷場中学校)

(A4判横)

※学校関係者評価実施日とは、学校関係者評価委員会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

学校教育目標	自主・協働・創造
目指す学校像	生徒一人一人の夢と希望を育む学校

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

出席者	
学校関係者 (教職員を除く)	8名
事務局 (教職員)	4名

学 校 自 己 評 価					
領 域	年 度 目 標			年 度 評 価 (令 和 3 年 2 月 1 日 現 在)	
	現状と課題	重点目標	具体的方策	重点目標の達成状況	達成度 次年度への課題と改善策
組織運営	<p>○企画委員会、生徒指導委員会は、組織的運営が行われている。さらに先を見据えた役割自覚を促したい。</p> <p>○教職員の学校運営参画意識は高い。学校課題解決に向けて、意図的、計画的で具体的な取組が必要。</p>	<p>①学校運営参画意識を高くもった機動的な組織による教育活動を推進する。</p> <p>②各分掌、各主任を核として、関係教職員に目標や目的を示した実践的な取り組みを進める。</p>	<p>①重点目標の確認と実現するための方策を具体的に示した、組織委運営を進める。</p> <p>②学校課題達成の各取組に向け、見通しを持たせた計画分担を各主任と進捗状況の確認をする。</p>	<p>①企画委員会、生徒指導委員会は現状を踏まえ、臨機応変な対応で組織力を生かすことができた。</p> <p>②校務分掌各主任が中心となり、企画段階から相談し、組織的な取組を実施している。</p>	<p>B</p> <p>○次年度もコロナ禍としての教育活動が強いられることを想定しつつ、積極的に実践していく体制をつくる。</p> <p>○各分掌がさらに成果を挙げられるように、分掌主任への日常の指導の機会を増やす。</p>
教育課程	<p>○行事の精選に努め、授業時数の確保が大きな課題である。</p> <p>○限られた時間の中で、生徒に有益な選択が迫られており、特に学習と部活動の充実が求められる。</p>	<p>①学習の基礎・基本を定着させ、学力を向上させる。</p> <p>②年間を見通した各教科の指導内容の精選を踏まえた授業展開、限られた時間で部活動の充実をさせる。</p>	<p>①Stepup教室、自習教室等の補習教室を実施し、学習の機会を確保する。</p> <p>②学習指導要領と照らし、学校での指導と家庭学習の充実を図る。</p> <p>③部活動について目標を掲げ、積極的、意欲的に取組ませる。</p>	<p>①臨時休校に伴う、授業の遅れを、例年以上の進度を保つことができた。</p> <p>②Stepup教室、自習教室等の補習教室を実施し、学習の機会に確保し、基礎基本の定着に努めた。</p> <p>③モチベーションを保ち部活動を取り組むことができた。</p>	<p>B</p> <p>○新学習指導要領実施に際し、指導と評価の一体化を目指した研修を推進する。</p> <p>○授業・行事・生徒会活動等が相互に効果的に関連するように全体計画や年間指導計画を見直す。</p>
開かれた学校づくり	<p>○家庭・地域の協力体制は充実しており、学校から地域への発信を積極的にしていくことも必要。</p> <p>○学校運営協議会が協力的で、この支援体制を維持し、さらに意見交流の機会を求める。</p>	<p>①教師も生徒も地域の中の学校を意識させ、地域との連携を深める。</p> <p>②学校運営協議会の充実を推進し、魅力的な学校づくりに反映させる。</p>	<p>①ホームページ、配信メールを活用し、教育活動を積極的に公開する。</p> <p>②PTA行事、地域連携行事への教職員の参加を増やす。</p> <p>③学校運営協議会に校内行事等を積極公開し、意見交流を求めていく。</p>	<p>①コロナ禍における他校・地域交流に活かされたが、実施できた活動において発信に努めた。</p> <p>②学校運営協議会委員の支援体制は維持できており、安全指導の実施等を通して、生徒との交流機会を依頼できた。</p>	<p>B</p> <p>○世の情勢を踏まえつつ、地域との交流行事を通し、地域に目を向ける生徒の育成を目指す。また、芝西小学校との連携事業の充実にも努める。</p> <p>○コミュニティ・スクールとしての発展を目指し、人材の活用を進めていく。</p>
教職員の資質向上	<p>○長期にわたる臨時休校により生徒の人との関わりの充実させていく必要がある。</p> <p>○お互いを高め合う教職員集団として、課題に対してチームプレーのできる集団作りを進めたい。</p>	<p>①生徒一人一人に寄り添った支援できる教職員の育成を推進する。</p> <p>②教職員が能力を最大限に発揮できる明るい職場づくりを進める。</p> <p>③危機への敏感な教職員の育成を日常から努める。</p>	<p>①支援を要する生徒の情報連携と課題の把握、具体的な取組方針を明確にする。</p> <p>②教職員のステージに即した計画と支援・見届けを行う。</p> <p>③新聞記事等を活用し、広い視野を持った教職員を育成する。</p>	<p>①企画委員会・生徒指導委員会等で検討を踏まえて、生徒に寄り添った指導を推進してきた。</p> <p>②教職員は協力的であり、工夫した教育活動の展開に努めていた。制限ある中ではあるが生徒はのびのび活動できた。</p>	<p>B</p> <p>○教職員の各分掌への関わりについて、生徒の実態を踏まえた丁寧な指導、実践力の向上を図る。</p> <p>○学習指導要領の改定に伴う全教科指導の計画と評価の一体化に関する研究が必要である。</p>
施設・設備等の管理	<p>○協力的な家庭・地域であり、緑化や環境美化が充実している。校内の学習環境の充実を進めていく。</p> <p>○市の協力のもと「やすらぎの森」の整備がなされた校内の危険箇所を整備していく。</p>	<p>①校内外の環境整備に努め、潤いのある学習環境を整備、充実する。</p> <p>②学校課題を踏まえ、教育活動を充実させるための施設・設備管理を推進する。</p>	<p>①効果的な教室内外の掲示を充実させる。</p> <p>②安全点検(月1回)の確実な実施し、危険箇所への対応をすぐ行う。</p> <p>③余剰教室の整理整頓、効果的な活用を図る。</p>	<p>①校内の緑化及びその保全について、学校運営協議会、PTAが協力的である。</p> <p>②毎月の確実な安全点検と早急な修繕等の実施により、施設・設備が適切に管理されている。</p>	<p>A</p> <p>○生徒活動における自然体験活動の充実、校内掲示のさらなる充実を図る。</p> <p>○定期的・臨時的な安全点検を充実させ、教職員の危機管理意識及び危険予見力を高めていく。</p>

学 校 関 係 者 評 価	
※実施日	令和 3 年 2 月 5 日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍でも、職員が創意工夫をして実践している。 ・教員の評価から組織的に対応、実施されている。 ◆あいさつの徹底について、言われてやるのではなく、社会に出たら人間性が問われる。 ・学活や道徳でLGBTや性差についての学習を進めていくことは大切である。 ○部活動は競技による差はないように、学校差や自治体の差が内容に連携を図る。 ◆読書量の減少について、生徒、家庭、学校で必要性も含め考えていく。 ・HPの写真の公開については、説明責任の範囲で公開をしていくとよい。 ・氏名公開、顔公開等、段階別の要望アンケートを取ることも必要ではないか。 ・学校の情報は、地域の中では話題(絆)提供としての機能もあるので、検討、対応が必要。 ・研修会の中止や机上研修の形をとり、実施してきた。今後も職員の研修等よろしくお願いたい。 ・校内施設の点検は大切である。防災倉庫も順次整理整頓が必要である。 ・本シートの左欄の設定項目は全体で決まっているものか?見直す時期でもある。 	